

あいち 国際プラザ



2024.3 No.160

AIA AICHI INTERNATIONAL ASSOCIATION

公益財団法人 愛知県国際交流協会
ニュースレター



紙の一枚

ボツワナの子もたちの様子

■写真の内容については7ページの「世界の街かどレポート」で紹介しています。

Contents

特集 愛知の国際交流・多文化共生イベント情報 2024 P.2 ~ 3

- AIA だより 協会の主催・共催事業などを掲載しています P.4 ~ 6
「業務で使えるやさしい日本語講座」を開催しました
「イスラム文化講座」を開催しました
「通訳者と支援者のためのコミュニティ通訳講座」(第2回)を開催しました
留学生インターンシップ報告
あいちでキラリ★~あいちで活躍する外国人の方を紹介します~
あいち医療通訳システムが利用できます
- Focus on ! P.7
国際交流ステーション 一般社団法人そよかぜフリースクール
世界の街かどレポート Dumela !—いつでも、どこでも、だれにでも—
- CIR ライアンのでくてく日記 P.8

当協会では賛助会員を募集しています。詳細は [愛知県国際交流協会 賛助会員](https://www2.aia.pref.aichi.jp/somu/j/send/boshu.html) で **検索**

<https://www2.aia.pref.aichi.jp/somu/j/send/boshu.html>

愛知の国際交流・多文化共生イベント情報 2024

2023年に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことにより、様々なイベントが再開しました。今回は愛知県内で行われる、海外の国をテーマとした異国情緒あふれるイベントの情報を集めました！

ラテンアメリカフェスティバル名古屋大須

日時：2024年4月21日（日）

場所：大須商店街 大須ふれあい広場（まねき猫）

ラテンアメリカフェスティバルは15周年！南米の文化、ダンスや音楽を知ってほしい、たくさんの方に楽しさを伝えたいという思いから立ち上げた年に1度開催されるラテンのお祭りです。バンドの演奏やダンス、パレードも開催します！大須商店街の中なので雨が降っても大丈夫。ぜひご参加ください。



主催：プキオラテンアメリカ

タイフェスティバル in 名古屋 2024

日時：2024年5月18日（土）・19日（日）

場所：久屋大通公園 エディオン久屋広場

ステージイベントによるタイ文化（タイ舞踊、ムエタイ）の紹介、タイ旅行体験ゾーン、タイカルチャーゾーン、リラクゼーションゾーンでタイをまるごと体験できます！また、タイ料理・工芸品の販売を通じ、愛知県を中心とした東海エリアの方々にタイ王国に親しんでいただく場を提供します。



主催：タイフェスティバル実行委員会

ネパールフェスティバル名古屋 2024

日時：2024年6月8日（土）・9日（日）

場所：久屋大通公園 エディオン久屋広場

お客様を神様としてお迎えするのがネパール流！会場ではネパールに関するステージや屋台でお客様をおもてなしします。伝統的な家屋であるBARTALI（バルタリ）を展示したり、様々な民族衣装を着ることができるブースもご用意。このイベントを機に他民族国家であるネパールについてぜひ知ってくださいね。



主催：海外在住者ネパール人協会（日本支部東海）

ベトナムフェスティバル

日時：2024年11月9日（土）・10日（日）
 場所：久屋大通公園 エディオン久屋広場

来場される方々にベトナムを体感し、ベトナムを身近に感じていただくと同時に、ベトナムの方々には故郷を思い出して頂けるよう、ベトナム交流振興のメモリアルデーとして開催します！「食」・「伝統芸能」・「音楽」・「観光」イベント等様々なブースをご用意してお待ちしております！

主催：ベトナムフェスティバル愛知名古屋実行委員会



名古屋中国春節祭

日時：2025年1月11日（土）～13日（月）
 場所：久屋大通公園 エディオン久屋広場

春節とは、中国の旧正月（旧暦の1月1日）を祝う、中国で最も重要で最大のイベント。中国では大晦日に魔よけや縁起担ぎのため門に赤い春を貼り、部屋やベランダに赤いちょうちんを吊るします。残念ながら2024年の開催は1月5日・6日に終わってしまいましたが来年も開催されます！来年1月11～13日に開催される予定です。ぜひみなさまご参加ください！



主催：名古屋中国春節祭実行委員会

このように、愛知にいながらも世界各国を身近に感じることのできるイベントがたくさん開催されているんですね。他にも、こちらには載せきれないほどたくさんのイベントが開催される予定です。いろいろ調べてみてくださいね☆

ちなみに、当協会が主催する「ワールド・コラボ・フェスタ2024」は10月に開催予定です！この地域で国際交流・国際協力・多文化共生・SDGsに関する活動をしているNGOやNPO、政府機関や企業が集まってつくりあげる中部地区最大級の国際イベントで、ステージでは華やかなパフォーマンスやトークショーが、ブースではワークショップや物品販売などが展開されます。詳しくは7月号やウェブサイトにて掲載する予定ですのでどうぞ期待！！



※こちらに掲載したイベント情報は変更される可能性がございます。詳細は各イベントウェブサイトをご確認ください。

「業務で使えるやさしい日本語講座」を開催しました



愛知県内の自治体職員などを対象に日頃の業務で実践的に使えるやさしい日本語を学ぶ講座を開催しました。第1回は12月にオンラインで開催し、やさしい日本語に取り組む必要性を意識してもらうための考え方や基礎を学びました。また、第2回は1月に対面で開催し、防災チラシをグループワークで実際に作成するなど実践的なやさしい日本語に取り組みました。参加者の日常業務を分野別にみると、福祉、子育てや教育関係、保険年金、多文化共生、税務など様々な分野に渡っており、改めて日々の生活に関わる色々な部署で「やさしい日本語」が必要とされていることがわかりました。

今回、講師を担当いただいたのは、一般財団法人自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザーをされている崔英善先生です。崔先生は2000年に韓国から来日し、地域の国際交流協会や日本語教室などでの業務やボランティア活動を通し、多文化共生に関する研究・活動に携わっていらっしゃいます。在住外国人という立場から実体験に基づいた「やさしい日本語」についての講義は、異文化コミュニケーションという視点も取り入れた具体的かつわかりやすい内容で、すぐにでも業務に活かすことができると参加者に好評でした。また、これまで理解していた「やさしい日本語」が、実は外国人からみたら「やさしい日本語」ではなかったという気づきを得ることができ、これまでの業務を見直すきっかけになったという参加者の方もいらっしゃいました。愛知県は外国人住民数が非常に多いので、「やさしい日本語」がさらに浸透し、外国人にとって住みやすい地域となることを願っています。



▲講師の崔先生

「イスラム文化講座」を開催しました



昨年に新型コロナウイルス感染症による入国制限がなくなってから、特にインドネシア、マレーシアをはじめとする国からのイスラム教徒（ムスリム）の在住者や旅行者は増えてきています。当協会では、毎年、当協会や県内市町村・市町国際交流協会に登録しているボランティア向けの研修会を行っておりますが、今年度はイスラム文化をテーマとした講座を2月16日（金）に開催しました。イスラーム（イスラム教）は、多くの日本人にとって、まだまだあまり身近な宗教ではないかもしれませんが、愛知県内のムスリム人口は日本国内で東京に次いで多く、さらにモスク（イスラームの礼拝施設）の数は11カ所と、全国で一番多いことを皆さんはご存じでしょうか？

講師には、鈴鹿大学国際地域学部アジアコース助教の竹野富之先生をお迎えし、イスラームについての基礎知識を学んだうえで、「日本は今後、イスラム社会とどう向き合うべきか」というテーマについてお話いただきました。竹野先生は、マレーシアに留学経験があり、マレーシアのイスラームなどについて研究されています。また、パキスタン出身で、鈴鹿大学国際地域学部留学中のアラム・ムハンマド・アティフさん（愛知県内に在住）をゲストスピーカーにお迎えし、講師との対談形式でパキスタンのことや、日本でのムスリムの生活などについてお話いただきました。

竹野先生の豊富なイスラームの知識やイスラム社会で生活した経験を交えた興味深い講義は、日本国内におけるムスリムとの付き合い方や多文化共生など、参加者の皆さんがボランティア活動を行う上で非常に参考になる内容でした。

今後、ムスリムに接する機会も増えていくと思いますが、講義を通して、断食、礼拝、テーブルマナーなどイスラームやムスリムへの理解を深めることができました。



▲講師の竹野先生（右）とゲストスピーカーのアラムさん（左）

「通訳者と支援者のためのコミュニティ通訳講座」(第2回)を開催しました ▶

2023年5月12日(火)に外国人ヘルプライン東海との共催事業、「通訳者と支援者のためのコミュニティ通訳講座」(第2回)を開催しました。今回は第1回目基礎講座を基に、専門性が必要とされる、「ドメスティックバイオレンス(DV)」の相談を受けた場面を想定し、DV制度や支援の現場における通訳の役割や在り方を学びました。

第I部では、愛知県福祉局福祉部地域福祉課の南太郎氏より「DV被害者への対応について」と題し、制度の仕組みや可能な支援について丁寧に説明していただきました。第II部は「外国人DV被害者の実態とNPOによる支援」と題し、「そうみ—移民女性自立の会」の杉戸ひろ子氏より、実際の支援活動における体験を踏まえて、貴重なお話をいただきました。第I部、第II部の講義を活用し、第III部では共催者である「外国人ヘルプライン東海」の後藤美樹氏がファシリテーターを担い、グループワークが行われました。通訳者としての役割の大切さを再認識し、同じ言語の通訳者と交流することで、自分自身が行っている通訳を見直す良い機会になったようです。

実際にDV相談で使用される専門用語をどのように通訳するのがベストなのかを、英語、スペイン語、ポルトガル語、やさしい日本語の言語ごとに7つのグループに分かれてワークを行いました。ワークでは「保護命令」はどのように通訳しているか、日本語ではよく使われる「一緒に頑張りましょう」は直訳できない表現であること、また「何を一緒に『頑張る』のか?」「どう訳すのか?」などグループごとに実践的に学びました。

普段何気なく話す言葉でも、いざ通訳するとなると考えてしまうという意見もあったので、通訳をお願いする側も、通訳しにくい言葉があることを知っておくと良いかもしれませんね。



▲講座中の受講生の様子

留学生インターンシップ報告

う しんかん
于 津 歆 (中国) ▶▶▶▶▶

私は日中友好に協力したいという強い意欲があり、同時に自身の語学力を実践で活かし、オフィスワークの経験を積みたいので、今回のインターンシップに参加しました。インターンシップは5日間のスケジュールで行われ、職場体験として、図書業務、文書作成、日本語教室での交流、講座への参加等の各事業の事務補助をしました。

初めてのインターンシップは、最初は不安と興奮が入り混じったものでした。しかし、幸運なことに、協会の職員の皆さんはとても優しく業務とスケジュールの内容を説明してくれました。私は協会の職員の皆さんのサポートにより、不安な気持ちがすぐに解けました。

インターンシップの期間中、私は多くのことを学びました。まず、協会にある「あいち多文化共生センター」と愛知県庁にて説明を受け、多文化共生を進めることの意義と必要性を痛感しました。差異を尊重し、協力して共生することが社会全体において認識され、尊重されるべきだと感じました。

より豊かで平和な社会を築くことができると思います。また、工作中、コミュニケーション力の重要性を感じました。相手が伝えたいことをちゃんと理解した上で、仕事を始めること、そして自分が伝えたいことをきちんと伝えることは、職場で欠かせない能力の二つだと思います。

私は今回の経験に基づいて、今後も更なる勉学に励み、自分のスキルと専門知識を向上させていくことを目指します。また、多文化共生に協力し、より広い視野を持って、社会への貢献を果たしていきたいと考えています。感謝の気持ちを胸に、これからも挑戦し続け、成長し続けます！



▲日本語教室に参加する于さん(写真左)

★あいちでキラリ★ ～愛知で活躍する外国人の方を紹介します～

このコーナーでは愛知県で活躍している外国人の方にインタビューを行い、キラリ★輝いている理由をお聞きます！

東海人材支援事業協同組合
フン・テ・トゥンさん (ベトナム出身)

■ トゥンさんのことをおしえてください！

最初に来日したときは関東の大学に留学生としてやってきました。日本がとてとても好きになったので日本で就職したいと考えていたとき、妻の姉が住んでいる愛知県碧南市に呼ばれ、引っ越してきました。来日してからもうすぐ20年になります。



▲碧南市役所の前に立つトゥンさん

■ 日本ではどのようなお仕事をしていますか

現在は碧南市の東海人材支援事業協同組合で働いています。弊組合では海外からの技能実習生を受け入れ、管理をしています。私は技能実習生の仕事のことから日常のことまで世話をしています。技能実習生からは「先生」と呼ばれていますよ。せっかく日本に来るのだから快適に過ごしてもらいたい。病気になったときや困り事ができたときの不安を軽減できるように、また実習生の夢を叶えるために努力しています。

■ キラリ★輝いている秘訣をおしえてください！

碧南市をもっともっと元気にするために様々な活動をしています。碧南市役所前で開催される「元氣ツス！」というお祭りイベントの運営にも関わっていますし、青年会議所の国際交流イベントにも携わりました。人が集まるお祭りやイベントが大好きなので積極的に関わっています。

■ 今後の目標は

長く住んでいる日本に恩返しをしたいです。そのためには色々な交流イベントに参加していきたいです。日本はお花見をしたり夏祭りをしたりといい文化があります。ベトナムにも旧正月を祝ったりと独特の文化があります。日本とベトナムの文化交流を促進し、両国の橋渡しができるような活動をさらにしていきたいと考えています。

半日の取材でしたが、トゥンさんが関わっている様々な方にも合わせていただき、とっても有意義な時間を過ごせました。どうしてそんなにパワフルなの？と聞きたくなるほど色々な活動をされていて、とても魅力的なトゥンさんでした。



いりょう つうやく
あいち医療通訳システム

アイミス

AiMIS

病院で通訳などが利用できます。

Interpretation services are available at participating hospitals

可在医院使用口译服务

Disponibilizamos o serviço de tradução nas entidades hospitalares

Tenemos disponible servicio de interpretación médica

Interpreter ay magagamit sa ospital

対応言語: English・中文・Português・Español・Filipino・Tiếng Việt

※その他の言語については、下のウェブページで確認してください。



あいち医療通訳システム推進協議会事務局

☎ 052-954-6138 平日/Weekdays 9:00~17:30

<https://www.aichi-iryoku-tsuyaku-system.com/>

Focus on!

国際交流ステーション

市町村や市町国際交流協会、NGO/NPOなどの活動紹介や最新ニュースをお届けするコーナーです。

一般社団法人そよかぜフリースクール (日本語学習支援基金 日本語教室学習支援事業認定団体)

地域の子どもたちの活動が減っている中で、子どもたちへの宿題等の学習支援を始めていて、愛知県に住む外国人が年々増えていることを知り、外国籍の子どもたちの支援に力を入れることができたらと考えたことが教室を作ったきっかけです。実際に、県営住宅（公営住宅）の集会所で始めたところ、住宅に住む外国籍の子どもたちの割合が増えて来ました。

教室では、外国籍の小学生や中学生を対象とした学習支援（ひらがなの練習、カタカナの練習、漢字の練習、計算の練習、学校の宿題）を行っています。中には、言葉の壁に阻まれて、意欲があっても、持続することが難しい子もいるので、学習支援以外の個々に合わせた支援もしています。例えば、なわとびやうんていの練習への対応や、日本語を学び始めたばかりの子の中には、学習支援を嫌がる子がいるので、そのような子には、その子の興味や関心のあることを一緒にするようにして、自然と言葉を学べるように努めています。

日本語学習支援基金を通して、運営費を補助していただけることで、教材の購入費用、消耗品の購入費用、スタッフの交通費や保険料等に充てており、助かっております。また、冊子やネットで広報していただき、宣伝力が増していることで、活動に携わるボランティアさんが増えており、個々の子どもにあわせた臨機応変な活動が可能になったことから、子どもたちの日本での生活が前向きであることを知り、ほっとしています。



▲教室の風景



▲学習支援の様子

一般社団法人そよかぜフリースクール
住所：名古屋市守山区喜多山1-15-16
Tel：052-793-0805
E-mail：soyokaze62@gmail.com

Focus on!

世界の街かどレポート

世界各地で活躍する方々に現地の活動や交流の様子をレポートしていただくコーナーです。

Dumela (デュメラ)！ーいつでも、どこでも、だれにでもー

ボツワナ (JICA 海外協力隊 菊地 純奈)

Dumelang bagaetsho. (デュメラン バハエーツォ) みなさん、こんにちは。

ボツワナは、南アフリカ共和国の北に位置する内陸国で、面積は日本の約1.5倍、人口は名古屋市と同じくらいです。ということは、日本と比べると、かなり人口密度が低いです。その代わりに、動物がたくさんいます。普段生活している中で見かけるのは家畜が多く、山羊・鶏・牛・豚・ロバ・馬・羊・犬などがいます。こちらに来て驚いたことの一つは、車の運転手が、動物にもクラクションを鳴らすことです。動物たちも車の様子を見ながら、上手に道路を渡って行くので感心します。

そんなのんびりとした雰囲気だからか、気持ちに余裕をもっている人々が多いように感じます。街中で困っていると、それに気が付いて声を掛けてくれる人も多いなと感じます。もちろん、日本人だから目立つということもあると思いますが、普段から接している活動先の子どもたちや先生方も、気に掛けてくれるのは同じです。また、挨拶をすることが重視されており、道ですれ違ったら知らない人でも挨拶を交わします。タクシーに乗るときも、行き先を伝える前にまず挨拶。この一通りの流れに、ようやく慣れてきました。

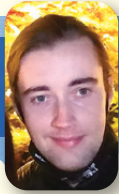
ボツワナに住んでみて、日本人の私は、効率性や実用性を第一に考えたり、行動したりすることが多かったことに気付かされています。もちろんそれが良い場面もありますし、そのお陰で助かることも多いですが、それが全てでは無いのだなあ実感する日々です。ボツワナや現地の人々の素敵なところをたくさん見付けて、自分も生活の中に取り入れていきたいと思っています。



▲朝登校すると、挨拶をしてくれる子どもたち



▲道ばたにいた、母牛とお乳を飲む子牛



CIR ライアンの てくてく日記

※ CIR とは、「国際交流員」(Coordinator for International Relations) の略称です。

今月はセント・パトリックスデーで、これはアイルランドで最も重要なお祭りです。セント・パトリックスデーには、アイルランドの人々が町の中心で集まり、音楽、マーチングバンド、緑の服を着て祝います。セント・パトリックは、5世紀にアイルランドにやってきてキリスト教をもたらした伝説的な人物です。植物のシャムロック（クローバ類）を使ってキリスト教を地元の人々に説明したと言われています（想像力を使えば、シャムロックは十字架の形に似ています）。シャムロックはアイルランドの重要な象徴となり、その色はアイルランドの国民色となりました。

現代ではセント・パトリックスデーは宗教的な意味を持っていませんが、むしろアイルランドの音楽、文化、伝統を祝う日となりました。歴史的には、多くのアイルランド人が他の国に移住したため、セント・パトリックスデーは世界中で祝われるようになり、最初はアイルランドの移民コミュニティによって祝われましたが、次第に地元のコミュニティとともに、非常にユニークで包括的な祝典となりました。

日本では1992年から祝われ、2005年以来名古屋でセント・パトリックスデーのパレードが行われています。今年のセント・パトリックスデー大須商店街パレードは、3月16日に行われます。イベントは無料で、約1時間続きます。地元のミュージシャンによるアイリッシュ音楽が演奏され、無料のステッカーやポストカード、パンフレットも用意されます。どなたでも参加歓迎です。ただし、何か緑色のものを身に着けるのを忘れないでください！

日程と開始時間

2024年3月16日（土曜日）14:00

集合 / 解散場所

大須仁王門前 13:45 に集合。パレードはそこから 14:00 に始まり、大須商店街内を 15:00 まで一周します。

～ワンポイント英会話～

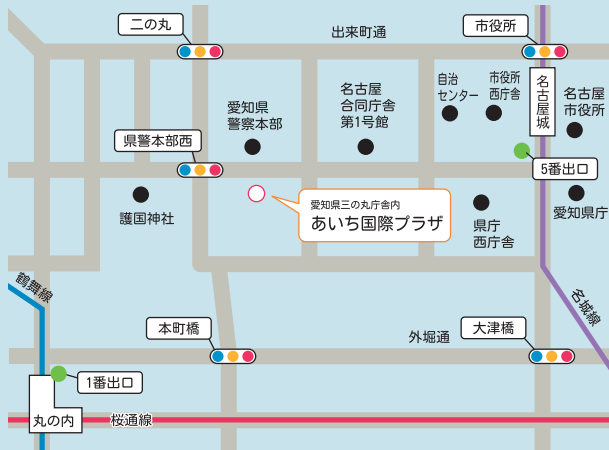
■ Gradually~ (次第に~)

〈例〉 Gradually together with local communities.
次第に地元のコミュニティとともに。

■ Don't forget to~ (~し忘れないで)

〈例〉 Don't forget to wear something green!
何か緑色のものを身に着けるのを忘れないでください！

■ 協会案内図及び交通案内



地下鉄名城線「名古屋城」駅5番出口より徒歩5分
地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内」駅1番出口より徒歩10分

■ 編集後記

だんだんと春の気配を感じるようになりました。暖かくなると外出したくなりますよね！今回の特集ではイベント情報を掲載しました。ぜひお読みいただきお出かけください。私は今回取材で碧南市を訪問し、とっても好きになりました。名古屋から高速を使えば1時間くらい。お出かけにピッタリですね。今度はプライベートで出かけてみたいと思います。(甲村)

■ 開館時間案内

開館時間 月曜日から土曜日 10:00 ~ 18:00
(金曜日は 10:00 ~ 20:30)
休館日 日曜日、祝日、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

■ 編集・発行

令和6年3月15日発行
公益財団法人愛知県国際交流協会

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1 (愛知県三の丸庁舎内)
TEL : 052-961-7903 / 052-961-8744
FAX : 052-961-8045
URL : <https://www2.aia.pref.aichi.jp/>

*本誌を作成するにあたり、企業・個人の方に取材を通じてご協力いただいておりますが、登壇する企業・個人の営業活動の促進を目的とするものではありません。